

令和5年度 第1回災害時要援護者支援連絡会 議事要旨

日時：令和5年2月9日(金)午後3時から午後4時30分

場所：中央北生涯学習プラザ1階 学習室

1 議題等

- (1) 要配慮者（災害時要援護者）支援に係る主な取組状況について（報告）
- (2) 避難行動要支援者の避難支援啓発パンフレット（案）について（意見交換）
- (3) その他

2 主な協議内容（○意見等、●回答）

- (1) 要配慮者（災害時要援護者）支援に係る主な取組状況について

福祉避難所の指定状況や、避難行動要支援者名簿提供団体数の推移、「尼崎市における段階的な個別避難計画作成の考え方」に基づき、「(1) ご本人やご家族・避難支援等関係者による個別避難計画作成の取組」と並行して、災害リスクの高いと考えられる要支援者を対象とした「(2) 市が避難支援等関係者と連携して作成する個別避難計画の取組」、また、防災教育の支援等（資料1）について報告を行い、その内容の質疑応答を行った。

（主な質疑内容）

- 資料1の2に避難行動要支援者名簿提供団体数の推移が記載されているが、提供数が停滞しているように思える。どのような課題があるか。
- 自主防災会では独自の名簿を作成し、地域防災や地域のつながりづくりに取り組んでいる地域もある。そうした地域にも、名簿や個別避難計画作成の取組をご理解いただけるよう、避難行動要支援者の避難支援を啓発するパンフレットを活用し、地域の方へ避難支援の取組の必要性について丁寧に伝えていきたいと考えている。
- 高齢者は民生児童委員で把握しているが障害者はどうなのか。
- 民生児童委員にも、高齢者兼避難行動要支援者名簿を提供しており、同意いただいた高齢者及び障害者等の情報を掲載している。
- 資料4の(3) 防災教育の支援について記載されているが、今後はより若い世代である中学生を対象に地域防災の担い手としての防災教育を検討してほしい。
- 中学生に向けての防災教育の働きかけについては、今後検討していく。

- (2) 避難行動要支援者の避難支援啓発パンフレット（案）について

関西国際大学の学生による避難行動要支援者の避難支援啓発パンフレット作成の取組の報告（資料2）を行い、啓発パンフレット（資料3）の内容及び周知啓発方法について、

意見を伺った。

(内容について主な意見)

2 ページ 避難行動要支援者名簿を活用した地域の取組みについて

- 具体的に活動している地域名を記載することで、身近に感じ、新たに名簿を活用した取組をしたいと考える地域が出るのではないか。

3 ページ 名簿の活用における避難後（避難所生活）の内容について

- 耳が聞こえにくいという表現を変えられないか。
- 「筆談しましょう」のボードを見せられるより、「〇〇さん受付においでください」とか書かれている方が聴覚障害者としてはありがたい。
- 「名簿がないとき」に関しても「無視して感じ悪いな」というよりは「聞こえているはずなのにどうして来ないの？」の方が良い。
- ネガティブな表現となっていることや、名簿がなければ合理的配慮もされないというように誤解を与えかねないし、受付の場面であれば避難生活の場面にそぐわないかなと感じた。
- 障害の特性上、周囲の迷惑になるのではと懸念し、できるだけ避難所に行きたくないという親が多いため、在宅避難をしている方に向けてのイラストを加え、在宅避難でも取り残されていないという安心感がほしい。
- 障害の特性上、周囲の迷惑になるのではと懸念し、避難所に行くことが難しいと考え、在宅避難を選択する家族が多い。そこでの一番の心配は、安否確認と自宅で避難していることが周囲に知られていないのではという孤立感になる。知ってもらえるだけで話につながるため、在宅避難をしているイラストを加えてもらえると、在宅避難でも取り残されていないという安心感につながる。
- 精神障害者も在宅避難の方が多い。また、名簿は中度の精神障害者は対象となっていないが、困難を抱えた方はたくさんおり、避難所に行くことも難しく、在宅避難している人に、避難所での支援物資等の情報が在宅避難者に伝えられるということが伝えられる内容が良いのでは。
- 過去の災害では、高校生などの若い世代が自宅で避難している高齢者に避難物資を届けるなど、大きな力になった。若い世代にも自分もやろうと思えるような、具体的な支援の例を載せてはどうか。

5 ページ 個別避難計画の作成における避難後（避難所生活）の内容について

- 医療関係の支援を必要とする方が抜けていると思う。重度心身障害者で、電動や吸引とかする人の中には、移動できない人がいる。そのような方の避難支援について少し加えていただけたらと思う。

6-7 ページ 個別避難計画を記入してみようの内容について

- 本人や地域の状況も変わるため、計画を更新することも大切だということを付け加えてみても良いのでは。

- 市のホームページに掲載している個別避難計画はPDF形式だが、携帯端末から書き込むことができるようword形式を追加すると良いと思う。
- 例えば様々な障害者が在宅避難する際にどうすればよいのか等が分かるNHKの災害時の障害者のためにというサイトなどがあり、余白にそうした必要な情報取得できるQRコードを載せると良いと思う。
- 障害者差別解消法のリーフレットに障害の特性が分かるような情報が掲載されている。障害者差別解消法の啓発もかねて、その情報が掲載されているホームページのQRコードを添付してはどうか。

啓発パンフレットの内容全体について

- 外国人などで漢字を読めない人のためにルビがあると良い。
- 個別避難計画の作成用紙をパンフレットに加えられないか。
- パンフレットに個別避難計画の用紙を挟み込むことで対応する。
- 本日お伺いした意見については、また関西国際大学の学生と共有し、可能な限り反映させたいと考えている。

(周知啓発について主な意見)

- 非常によくできたパンフレットで、持ち帰り共有したい。完成したら提供していただきたい。
- 計画作成は要支援者が対象となっているが、精神障害者保健福祉手帳の重度(1級)が対象なので、中程度(2級)の方の対応についても考えていただきたい。

(3) その他

- 情報提供や報告の場として、災害時要援護者支援連絡会の開催を年に複数回していただければありがたい。
- 来年度の開催回数や時期については、事務局で検討する。

以 上